



4歳女児。昨日からトイレの回数が増えて、10分ごとに行きます。膀胱(ぼうこう)炎でしょうか。



おしっこは腎臓で作られ、膀胱にたまり尿道から出ますが、この系統の細菌による炎症を、尿路感染症と言います。年齢により症状が異なり、乳児は発熱のみで、尿検査で見えられます。男児に多く、尿の流れがうまくいかない場合に起こり、特に多いのはおしっこが膀胱から逆流する病気です。

幼児期には、トイレに行く回数が多くなる、おしっこをする時に痛みを訴える、腹痛、熱などの症状があります。女の子に多く、理由は、尿の出口から膀胱までの距離が男の子より短いので菌が入りやすくなるためです。この

トイレに行く回数が多い・・・ストレスの場合も

時、尿検査で感染があれば、抗生物質の治療で治ります。予防には、陰部の清潔(前から後ろにふく)が大切です。尿検査が全く正常で、始まりが最近の場合には、心理的なストレスによるものがあります。特徴的なのは、遊びに熱中している時、眠っている時にはトイレに行きません。尿に感染があれば、必ず夜も起きてトイレに行くか、夜尿になります。

家庭または集団生活で何らかの心配や不安がある、自分に関心を引こうとする、排せつのしつけが厳しかったなどがあります。治療としては、原因に対する対応、関心を おしっこ以外に向けるなどで、短期間に治ります。(水戸市中丸



子育て相談室

町野平野こどもクリニック院長・平野岳毅